

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

12月号の内容

- 1面
 ・先端がん治療研究所が開所
 ・先端がん治療研究所の開設にあたって
 ・ホームカミングデーを開催
 ・上條記念館こけら落とし公演のお知らせ
- 2面
 ・永年勤続者表彰式
 ・推薦入試・編入学試験を実施
 ・第22回緑風祭が開催
 ・緑風祭を終えて
- 3面
 ・マダガスカル口唇口蓋裂医療協会の感想
 ・歯学部学生がSCRPで入賞
 ・日本臨床分子形態学会で優秀演題を受賞
 ・創立90周年記念式典のお知らせ
- 4面
 ・学生海外研修報告
 ・昭和大学サポート寄付制度
 上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版・フォト係】
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp

【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
 03-3784-8387

【学事について：学務課・大学院課・入学支援課】
 03-3784-8022 (旗の台)
 0555-22-4403 (富士吉田)
 045-985-6503 (横浜)
 03-3784-8026 (入学支援課)

先端がん治療研究所が開所 大学全体で挑むがん治療

昭和大学先端がん治療研究所が開所式が10月31日、多くの製薬企業関係者や医療関係者などが集まる中、グランドプリンスホテル新高輪で開催された。

同研究所は、1996年に開設された昭和大学腫瘍分子生物学研究所を前身とし、診断・治療・予防技術の新規提案・開発を目標に、基礎・臨床・産学連携ト

ランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)を推進するためにリニューアルした。社会に貢献する研究を進め、国内はもとより世界的にも上位の研究を目指している。

開所式に先立ち行われた記念講演会では、昭和大学先端がん治療研究所のディレクターに就任した上野直人教授(テキサス州立大学MD)



あいさつする上野直人教授

先端がん治療研究所 所長 鶴谷 純司

昭和大学は腫瘍分子生物学研究所を改組し、先端がん治療研究所を開所しました。Directorとして、テキサス州立大学 MD Anderson がんセンター乳癌腫瘍内科部門の上野直人教授を迎え、私が所長を拝命しました。私はこれまで近畿大学腫瘍内科や米国立がん研究所で、がん治療の基礎および臨床研究に従事して参りました。

本研究所はがんの診断・治療開発を行い、基礎

先端がん治療研究所の開設にあたって



先端がん治療研究所 所長 鶴谷 純司

・臨床・産学が連携したトランスレーショナルリサーチを通して社会に貢献します。具体的には、分子生物学、腫瘍免疫学、臨床薬理学を駆使し、医・薬・製薬・対外診断用医薬品メーカーと連携しながら橋渡し研究を進めていき、さらに MD Anderson がんセンターを始め、国内外のアカデミアとの共同研究を立案・遂行します。また、企業治験のみならず医師主導の臨床試験や治験を推進します。これらのミッションを達

成するため、研究所には熟練した基礎・臨床研究員(教員)を配置し、多様な人材が互いに補完することで、研究を重層化します。また、実際のプロジェクトを通して若手を指導し、次世代の研究者を育成していきます。そして今後は国際交流センターによる支援の下、グローバルな研修事業を進めて参ります。そのために海外から研究者を招聘して学術セミナーを行うとともに、昭和大学の研究者を国外の研究施設に派遣し、双方向の国際交流を推進していきたくと考えております。



記念講演会の様子



記念講演会の出席者ら

は連携ができるということが触れられており、がん治療研究を大学全体で取り組んでいけることが同研究所の特徴の一つとして説明した。開所式では上野教授があ

いさつし、「本研究所を新しい形の理想的なモデルにしていきたい。そのため皆さんからご意見をいただき、いろいろな考え方を集約し、より良いものにしていき

ホームカミングデーを開催

ホームカミングデーが旗の台キャンパスと横浜キャンパスでそれぞれ開催された。ホームカミングデーは歴代の卒業生を母校に招待し交流を深めてもらうことなどを目的に年に一回開催されている。

旗の台キャンパス (10月7日開催)

今年度はゴールデン記念表彰(卒後50年)となる医学部36回生、そしてシルバークラウン(卒後25年)となる医学部61回生、歯学部11回生、薬学部24回生が招待され、小出良平学長から代表者に表彰盾が手渡された。続いて行われた懇親会では、学部を越えた交流もあちこちで見られ、出席者は思い出話に花を咲かせていた。ホームカミングデーの出席者からは「久しぶりにみんなに会えてよかった」「すごく楽しい時間だった」などの声が聞かれた。

横浜キャンパス(10月28日開催)

今年度はブロンズ表彰(卒後15年)となる4回生(医療短期大学4期生)が招待された。表彰学年代表者には小出良平学長から表彰盾が贈呈され、出席者は、なつかしのキャンパスで旧交を温めた。また、10月27日と28日の2日間で第22回緑風祭が開催され、ステージ企画や各種模擬店に各学科の体験コーナー、さらに教員によるバザー&カフェが開かれ、キャンパス内は大変賑わいを見せた。



若き頃の卒後50年の出席者を写したスライドショー



昭和大学 ホームカミングデー

昭和大学上條記念館開館記念

90th SHOWA University 至誠一貫 1929

“文化の創造 知の殿堂”

来年(2019年)4月竣工予定

公演期間:2019年5月~2019年10月
 公演内容・日程は近日発表!

こけら落とし公演

公演をご希望の方は下記迄
 お問い合わせ先: 上條記念館開館準備担当 TEL 03-3784-8030 Mail kinenkan@ofc.showa-u.ac.jp

MIZUHO みずほ銀行 One MIZUHO

住宅ローンを見直してみませんか? 毎月第2土曜日 住宅ローンのお借り換えには、3つの目安があります。 休日相談会開催中

1. 現在お借入中の住宅ローンの残高が1,000万円以上ある方
2. 現在お借入中の住宅ローンと、お借換後の金利差が年率以上ある方
3. 現在お借入中の住宅ローンの返済期間が10年以上ある方

お借り換えにより、毎月のご返済額を軽減できる場合があります。

* 上記は一般的な目安ですので、現在お借入中の金利条件(引き下げ条件)によっては借り換えのメリットがない場合がございます。また、住宅ローンのお借り換えにより、住宅ローン控除の適用を受けられなくなることがございます。
 * みずほ銀行でお借入中の住宅ローンをお借り換えすることはできません。
 くわしくは、店頭またはみずほ銀行ホームページ【https://www.mizuho.co.jp/】まで。

【お問い合わせ先】みずほ銀行 荏原支店 TEL: 03-3783-6111

One MIZUHO

永年勤続者表彰式

11月13日 上條講堂

平成30年度永年勤続者表彰式が11月13日、上條講堂で執り行われ、勤続35年30人、勤続25年78人、勤続15年108人、(計216人)に表彰状と記念品が贈呈された。



勤続35年表彰者

- 35年表彰者 (30人) ※敬称略**
- 伊藤 喬 薬学部薬化学
 - 伊藤 純治 理学療法学科
 - 荒田 博 富士吉田教育部
 - 末木 博彦 昭和大学病院皮膚科
 - 岡本健一郎 横浜市北部病院緩和医療科
 - 九島 巳樹 江東豊洲病院臨床病理診断科
 - 青 暢子 医学部医科薬理学
 - 綿貫 恵子 医学部附属看護専門学校教員室
 - 風張 富男 昭和大学病院管理課
 - 小玉 敦司 施設部
 - 佐藤 強 横浜市北部病院事務部
 - 小金井玲子 横浜市北部病院クオリティマネジメント課
 - 富田 雅子 鳥山病院事務課
 - 岸水 博子 歯科病院事務課
 - 伊東 孝詩 総務部総務課
 - 高橋 久幸 施設部施設課監視室
 - 猪股 昌美 藤が丘病院防災センター
 - 玉木 尚巳 藤が丘病院栄養科
 - 李代 育美 東病院栄養科
 - 東野由美子 藤が丘病院看護部
 - 深谷菜穂子 鳥山病院A3病棟
 - 香川 恭子 藤が丘病院薬剤部
 - 池田 司 横浜市北部病院薬剤部
 - 上ノ宮 彰 昭和大学病院生理検査室
 - 橋本 美恵 藤が丘病院臨床病理検査部
 - 太田 善樹 藤が丘病院臨床病理検査部
 - 及川 雄司 昭和大学病院リハビリテーション室
 - 松橋谷千代 歯科病院中央技工室
 - 池田 秀一 歯科病院中央技工室
- 25年表彰者 (78人)**
- 鹿間 裕介 藤が丘病院呼吸器内科
 - 長谷川 真 江東豊洲病院放射線診断科
 - 木村 聡 横浜市北部病院臨床病理診断科
 - 竹内 義明 昭和大学病院消化器内科
 - 市川 博雄 藤が丘リハビリテーション病院内科系診療科
 - 緒方 浩 横浜市北部病院腎臓内科
 - 佐々木晶子 医科薬理学
 - 小山田英人 医科薬理学
 - 西村 有希 医科薬理学
 - 木村 有子 歯科病院歯科衛生室
 - 野崎 良春 財務部資金課
 - 田口 彰彦 昭和大学病院事務部
 - 上田美紀子 昭和大学病院管理課
 - 赤須 文 昭和大学病院医療課
 - 濱崎 美和 昭和大学病院医療課
 - 齋藤 美樹 藤が丘病院管理課
 - 瀧 美樹 藤が丘病院管理課
 - 飯田八代枝 藤が丘病院医療課
 - 馬杉 朗子 藤が丘病院医療経営戦略課
 - 渡部 弘紀 横浜市北部病院医療課
 - 鈴木 健司 横浜市北部病院医療経営戦略課
 - 高原 祥実 豊洲クリニック事務課
 - 村田 久子 歯科病院事務課
- 35年表彰者 (30人) ※敬称略**
- 原田 純子 昭和大学病院放射線科
 - 佐野 信代 藤が丘病院小児病棟
 - 鶴崎 正二 東病院管理課
 - 土谷 元彦 施設部施設課監視室
 - 赤荻 路秀 施設部施設課監視室
 - 相川 久幸 藤が丘病院防災センター
 - 松本 和彦 鳥山病院中央監視室
 - 湯田 和美 東病院栄養科
 - 櫻井 幸江 東病院栄養科
 - 森下美智子 東病院栄養科
 - 田口 美保 昭和大学病院看護部
 - 伊藤 和子 昭和大学病院血液浄化センター
 - 矢田 牧子 昭和大学病院レントゲン検査室
 - 雅部 夕子 昭和大学病院小児科外来
 - 畑 麻紀 昭和大学病院CCU
 - 上田中知恵子 昭和大学病院11階病棟
 - 齋藤 佳織 昭和大学藤が丘病院総合相談センター
 - 加藤 信明 昭和大学藤が丘病院看護部
 - 岡崎 洋子 昭和大学藤が丘病院産婦人科病棟
 - 出川 美幸 昭和大学藤が丘病院5階南病棟
 - 露崎ひとみ 昭和大学藤が丘病院5階南病棟
 - 佐藤 由紀 昭和大学藤が丘病院7階西病棟
 - 秋原 木染 昭和大学藤が丘病院7階西病棟
 - 猪股 里美 昭和大学藤が丘病院8階東病棟
 - 田村 直子 昭和大学藤が丘病院8階西病棟
 - 宮脇 智子 昭和大学藤が丘病院9階病棟
 - 加藤 由紀 藤が丘リハビリテーション病院2階病棟
 - 飯岡 秀穂 横浜市北部病院西3階病棟
 - 大平 久子 横浜市北部病院8階A病棟
 - 向後 恵美 鳥山病院C3病棟
 - 山口 美貴 江東豊洲病院内視鏡センター
 - 山田 美穂 江東豊洲病院救急病棟
 - 三條 博美 江東豊洲病院患者サポートセンター
 - 大館 晴美 江東豊洲病院8階B病棟
 - 小館 友子 藤が丘病院産婦人科病棟
 - 平林 令子 藤が丘病院形成外科外来
 - 斉藤ゆかり 鳥山病院外来
 - 小野 公子 昭和大学病院CCU
 - 大竹由紀子 昭和大学病院12階病棟
 - 福永 晃子 昭和大学病院薬剤部
 - 名倉 美之 東病院薬局
 - 杉山 創 藤が丘病院薬剤部
 - 関 ふたみ 昭和大学病院生理検査室
 - 加賀山朋枝 昭和大学病院生理検査室
 - 佐藤 千秋 藤が丘病院臨床病理検査部
 - 米山 宏恵 横浜市北部病院臨床病理検査部
 - 高橋 一重 横浜市北部病院臨床病理検査部
 - 手塚 美紀 歯科病院臨床病理検査部
 - 小林 睦子 江東豊洲病院臨床病理検査部
 - 座喜味 健 横浜市北部病院放射線技術部
 - 小宅 卓也 昭和大学病院臨床工学室(C.E)
 - 宮島 真悟 藤が丘病院臨床工学室(C.E)
 - 柿沼 浩 横浜市北部病院臨床工学室(C.E)
 - 草間 里織 横浜市北部病院歯科室
 - 木下 芳樹 歯科病院中央技工室

推薦入試・編入学試験を実施
大学・看護専門学校合計で198名が合格

平成31年度推薦入試・編入学試験が11月3日、旗の台キャンパスで実施され、ことしの受験シーズンが始まった。

ことしの志願者数は昨年と比べ、4学部合計で13名の増加となった。

11月4日には医学部附属看護専門学校でも試験が行われ、昨年と比べ志願者数は27名増加した。

志願者数および合格者数は表のとおり。



試験開始を待つ受験生

| 学部 | 試験区分 | 試験日 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | |
|-------------|--------|-------|-------|------|------|------|----|
| 医学部 | 推薦 | 11月3日 | 若干名 | 2 | 2 | 2 | |
| 歯学部 | 推薦 | | 25 | 68 | 68 | 26 | |
| | 編入学 | | 若干名 | 6 | 6 | 2 | |
| 薬学部 | 推薦 | | 55 | 148 | 148 | 56 | |
| 保健医療学部 | 看護学科 | | 推薦 | 30 | 100 | 100 | 33 |
| | 編入学 | | 10 | 9 | 7 | 4 | |
| 理学療法学科 | 推薦 | | 5 | 16 | 16 | 7 | |
| | 作業療法学科 | | 推薦 | 10 | 7 | 7 | 6 |
| 医学部附属看護専門学校 | 推薦 | | 11月4日 | 70 | 189 | 189 | 52 |
| | 学士 | | | 10 | 39 | 37 | 10 |

第22回緑風祭が開催

第22回緑風祭が10月27日・28日の二日間、横浜キャンパスで開催された。

ことしのテーマは「飛躍」。今までの積み上げてきた学園祭をさらに発展させ、すべての学生が未来に向かって飛び立ちたいとの願いが込められている。ステージ企画や各種模擬店に各学科の体験コーナー、さらに教員によるバザー&カフェが開かれ、キャンパス内は賑わいを見せた。



緑風祭を終えて
緑風祭実行委員長 渡辺大貴
(保健医療学部 作業療法学科3年)

実行委員長をやってみて授業など学科のことがあっても緑風祭のことをまとめているのは大変苦労しました。しかし、副実行委員長や部門長の支えなどもあり、うまく進めていくことができました。一番大変だったのが部門員を集めることで、3年生の看護学科が実習で参加できないために人を集めるのに苦労しました。しかし、今年は2年生の方々も熱心に協力してくれたため緑風祭を成功させることができました。

緑風祭当日の雰囲気はともよく参加者も例年より



も増えていたので大変嬉しかったです。お笑い芸人も来てもらい、お笑いライブではたくさんの方が来てくださりとても盛り上がりました。委員長をやった大変なことがたくさんありましたが、みんなで協力して良い緑風祭になったと思います。この経験を将来のために活かしていきます。

地球の健康とすべての人々の健康で豊かな生活に貢献したい。それが私たちスズケンの壮大なテーマです。

Design Your Smile 健康創造のスズケングループ

SUZUKEN http://www.suzuken.co.jp

第8回 マダガスカル口唇口蓋裂医療協力 ～ 参加した学生の感想 ～

医学部5年 小林和貴

信号や高速道路は存在せず、鉄道も機能しておらず、道路には車や自転車、人力車、牛車などが入り混じっている世界を想像してみてください。これがマダガスカルに到着した直後の私の第一印象でした。

私は公衆衛生やインフラストラクチャーに興味があり本プロジェクトに参加しました。日本で生活していると、交通や水道、電気など全てのインフラが高水準



ベスト対策のポスター

今回のプロジェクトでは実際に現地ではないと学べない多くのことを体験すると同時に自分の無力さを感じることが多々ありました。しかし、日本の臨床実習とは異なる視点から医療に向き合うことができ、本当に参加してよかったです。

歯学部5年 家泉裕香

私は本年度のマダガスカル医療協力に、歯学部の学生代表として参加させていただきました。フィールドワークの時間を除きほとんど全ての手術と術前術後の回診を見学・アシストさせていただき、先生方と看護師の方から詳しく解説を受けました。今回の医療協力では口唇口蓋裂の手術に関する理解を深めただけでなく、それぞれがどういった視点をもって手術に臨んでいるのかという新しい学びや発見もありました。

歯科分野では歯科矯正学講座の中納先生のご指導の下、術前の歯磨き指導や印象採得、口腔内写真撮影をさせていただきました。う蝕の多さ、口腔衛生状態の悪さが印象的でしたが、フィールドワ

クや現地の方のお話を通じてマダガスカルの方の生活環境を知る中で、歯ブラシ一本が買えない途上国の厳しい現状を痛感しました。日々の生活や景色からも感じることや学ぶことが非常に多く、学生としての視野が大きく広がる本場に刺激的な経験となりました。今回このような素晴らしい機会を与えて下さった先生方や関係者の皆さま、滞在中にお世話になりました皆さまに心より御礼申し上げます。



薬学部5年 植木拓哉

私たち学生は今回の医療協力で見学やフィールドワークなどを行いました。手術見学では、術野での見学をさせていただきました。薬学部学生は手術室に入って見学することがほとんどありません。実際、日本で手術見学をしたことがなかったのが今回が初めての体験でした。執刀医、麻酔科医、看護師がどのようなことをしているかという連携



マダガスカルの薬局

しているのか学ぶことができました。また、術前検査の施行がままならない状態で、限りある物資と情報で最善な医療を行う医療人の姿を見ることができ、自分も協力したいという思いが強くなりました。フィールドワークは、外来、薬局、歯科、病院、マトロン(伝統的な産婆)の見学を行いました。日本と似ている部分や異なる部分を知ることができ、特に薬局見学は非常に興味深かったです。見学を通していかに日本が恵まれた国であるかを実感できました。

保健医療学部 看護学科3年 長内優子

私は不安を覚える患者さんやご家族とコミュニケーションを持つために、術前で泣いてしまっている子供に近くについて折紙で作った動物をあげたり、スマートフォンを用いて遊んだりしました。なかなか泣き止まない子どもが多かったですが、その中でも少し安心してくられて落ち着いた子どももいて言葉が通じないなかでも関わりをもつことができたのが患者さんの不安に寄り添えたと感じました。

マダガスカルにおける医療の現状は5歳以下の子供の死亡率が約50%もあり、貧困率が71%もあります。アベマリア病院の中で生活していると日本との貧富の差を感じなくなってきました。

このように数字で表されることで改めて実感しました。ただ単に病院が増え医者が増えただけでは充分とはいえず、人々の健康に対する認識や知識への啓蒙活動、またそのための教育システムの充実にも介入していかなければ、この医療の現状が改善されていくことは困難であることを感じました。多方面からのアプローチを必要とするためとでも難しい問題であると実感し、医療支援ではなく医療協力として支援より一歩踏み込むためには時間をかけて取り組むことが必要であると思いました。

歯学部西田訓子さんが基礎部門の2位に入賞 スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム

西田訓子さん(歯学部5年)が第24回スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会(日本歯科医師会館)で、基礎部門の2位に入賞した。

同大会は歯科学生の研究意欲の向上と歯科医療の発展を担う歯科学生の育成を目的とし、日本歯科医師会主催で毎年開催される英語による研究発表会。これは全国26の歯学部・歯科大学から各1名の学生が研究発表を行った。

日本臨床分子形態学会で受賞 向井大学院生が優秀演題

向井大学院生が優秀演題

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会(北里大学大村記念ホール)において、向井俊平大学院生(医学研究科臨床病理診断学)が優秀演題を受賞した。

向井大学院生は自身の演題「CLEM法を用いた腎血管Glycoalyx検出の試み」で、今まで顕微鏡での検出が困難であった血管内皮層のGlycoalyxという薄層を、光学顕微鏡と電子顕微鏡の観察画像を組み合わせて検出する技法について発表し、全73演題の中から優秀演題賞に選ばれた。

向井俊平大学院生のコメント
このたび、第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会にて優秀演題を受賞いたしました。研究の内容は腎血管のGlycoalyxを電子顕微鏡や光電子相関法(CLE

EM法で観察しその性状や部位別多様性を評価するというものでした。今まで研究の経験がなくマウスの取り扱いや電子顕微鏡の操作など初めての経験だらけでしたが、ご指導いただいた先生方のおかげで何とか結果を出すことができました。先生方には大変お世話になりました。今回の受賞を励みに引き続き研究活動を頑張っていきたいと存じます。



左から2人目 向井俊平大学院生

西田訓子さんコメント
私は、マルチドクタープログラムの研究テーマである「口腔と免疫関連組織に対する骨吸収抑制薬の新たな薬理作用」について発表しました。他大学の発表内容はともレベルが高かったため、基礎部門の2位に自分の名前が呼ばれた時は本当に驚きました。

臨床実習後に毎日のように歯科薬理学講座に通い、MCT解析や組織切片の作成、フローサイトメトリー等を行っていましたが、失敗ばかりで自分の技術の未熟さを痛感する日々が続きました。このような地道な努力が研究であり、自分では得られないと気づけた事は、今後、大学院に進学してもっと研究を掘り下げ、その成果を臨床に役立てたいという気持ちに火をつけました。



(中央) 西田訓子さん

最後に、親身になって研究を指導してくださった歯科薬理学講座の先生方、応援してくれた友人と家族に心から感謝いたします。

最後に、親身になって研究を指導してくださった歯科薬理学講座の先生方、応援してくれた友人と家族に心から感謝いたします。

2018年昭和大学は創立90周年を迎えました

記念式典・祝賀会を来年(2019年)に挙行!

開催日: 2019年11月10日(日)



◎記念式典

会場: 昭和大学上條記念館

記念講演や上條記念館の披露会を予定

昭和大学上條メモリアル合唱団による第九合唱を実施

◎記念祝賀会

会場: グランドプリンスホテル新高輪 飛天

昭和大学上條メモリアル合唱団による合唱を実施

創立90周年記念事業(上條記念館建設事業)募金へご協力いただいた方は式典・祝賀会に招待いたします。

続報は随時!

学生海外研修報告

「私が体験したこと」

ポートルランド州立大学(米国)

昭和大学は国際的な視野を持った医療人を育てるため、国際交流プログラム・短期海外研修の企画・実施に力を入れており、毎年世界各国の大学や病院に学生を送り出している。

ポートルランド州立大学とのサマープログラムは2006年に立ち上げ、昭和大学のためにデザインされたプログラム(英語でのインターカナルチュラロコミュニケーション、医療施設見学、医療講義などを含む)を導入している。ことは第一学年31名の学生が同プログラムに参加して渡米した。

加藤 (優)医学部1年

プログラムの初めの数日間、拙い英語で話すことに恥ずかしさを感じ、話の聞き手に回ってしまい、なかなか積極的に英語を話すことができませんでした。しかし、ホームステイという英語を話さなければならぬ環境下に置かれ、失敗を恐れずに話さないと英語は上達しないということを実感し、自分から話題を振って会話を続けることができました。また、私は滞在中に知らない人に話しかけられることがありました。慣れないうちは戸惑いを覚えたことが、アメリカではよくあることなのだ知り、次第に初対面の人と世間話をした



今回の留学は自分にとって初めての経験だったので、とても楽しく充実したものでなりました。ホームステイでは、ホストファミリーが自分の想像以上に親切に接してくれ、様々な会話をすることで、アメリカの食文化や日本の生活の様式の違いなど様々なことを学ぶことができました。PSU(Portland State University)の寮に入ってから、近へFood

藤井 康太(歯学部1年)

現地の人と話すことで、普段の授業では習わないような英語のくだけた表現やよく使うフレーズ、笑いのセンスまで学ぶことができました。とても充実した日々を過ごすことができました。

杉山 幸翼(薬学部1年)

今回のポートルランド州立大学サマープログラムに参加するまで、私は約一ヶ月という長期間の海外生活を体験したことがありませんでした。現地に行くまでは楽しみな反面、不安な気持ちがありました。実際に会話を



科の様々な分野ごとの現場を見学し、Abeさんの歯科医院見学では、Abeさんが普段されている仕事内容やアメリカで歯医者を経営している理由など様々なことを聞くことができました。これらの見学は自分が将来、海外で働いてみたいと思うほど自分に糧となることが多くなりました。これからの学習に生かしていきます。

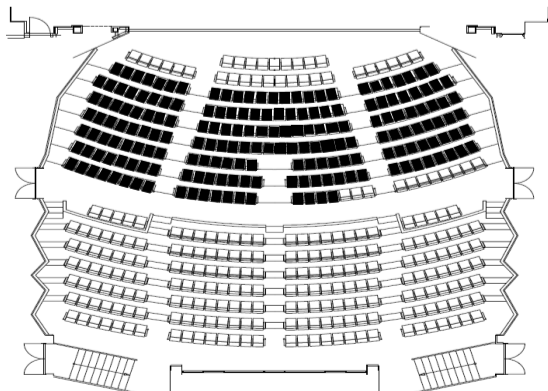
昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々 (平成30年10月1日～10月31日お申し込み分)

- 教育研究への寄付
 [父 母] 山崎 龍彦 様 / 中島 潤也 様
- 各クラブ・学生会への寄付
 [父 母] 鈴木 泰 様(医学部卓球部) / 浅野 希 様(医学部公式庭球部)
- 創立90周年記念事業への寄付 (上條記念館建設事業)
 目標寄付金額: 10億円
 累計寄付金額: 614,518,516円 (平成30年10月31日現在)
 ※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條講堂(新)座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)
- [一 般]
 錦木 衡平 様 / 株式会社東栄 様 / 株式会社ポストインターネットワーク 様 / 株式会社柴橋商会 様 / 有限会社セキテックエンジ 代表取締役 関口 真司 様 / 株式会社みずほ銀行荏原支店 様 / 日本パーティサービス株式会社 代表取締役 渡辺 隆一 様 / 新日本空調株式会社 代表取締役社長 夏井 博史 様 / 株式会社千代田 様 / 株式会社映像システム 様 / 株式会社タマショウ 代表取締役 高原 司 様 / ホーチキ株式会社 様 / 株式会社マルエム商会 様 / 株式会社かわでん 代表取締役 信岡 久司 様 / 株式会社ジェイエスピー 様 / 株式会社セノン 代表取締役 小谷野 宗靖 様 / 日本電子応用株式会社 様 / 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 様 / 医療法人 新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 院長 池田 重雄 様 / 株式会社東根基 様 / 東テック株式会社 代表取締役 長尾 克己 様 / 株式会社ワイム 代表取締役 石澤 真里子 様 / 株式会社メモリアル・ニッソー 様
- [父 母]
 新幡 哲也 様 / 葛西 浩 様 / 葛西 用寿 様 / 榎塚 晶経 様 / 前野 はるみ 様 / 錦木 宏美 様 / 今井 滋 様 / 佐藤 和宏 様 / 新井 貴仁 様 / 医療法人俊和会 理事長 中西 俊郎 様 / 原 隆英 様 / 鈴木 淳一 様
- [同 窓]
 井本産婦人科医 井本 正樹 様(医学部・38回生) / 香川 豊明 様(医学部・47回生) / 工藤 葉子 様(医学部・60回生) / 下司 映一 様(医学部・50回生) / 小川 良雄 様(医学部・49回生) / 齋藤 容子 様(歯学部・10回生) / 昭和大学医学部充完会 代表 酒井 朗 様(医学部・19回生) / 櫛田 明世 様(薬学部・28回生) / 末延 清志 様(医学部・30回生) / 大塚 和子 様(医学部・37回生) / 大塚 直純 様(医学部・36回生) / 医療法人幕内会山王台病院 理事長 幕内 幹男 様(医学部・50回生) / 川口 毅 様(医学部・35回生) / 村田 真理子 様(薬学部・35回生) / 渡嘉敷 奈緒美 様(薬学部・18回生)
- [職 員]
 由良 明彦 様 / 笹森 寛人 様 / 山田 庄司 様 / 吉田 仁 様 / 池田 尚人 様 / 永井 隆士 様 / 佐々木 由香 様
- [備 考]
 ※申込順となっております。
 ※名前の公表を希望されない方については、掲載していません。
 ※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。
 医…医学部 歯…歯学部 薬…薬学部 保…保健医療学部

上條記念館建設事業 新講堂 イス芳名プレート席数

既申込数 189席
対象席数 437席

平成30年10月31日時点



※黒塗り部分が既申込席となります。
※本事業への寄付が100万円以上の方が対象
※前方2列はプレート設置対象外です。
(図)上條記念館内新講堂1階

今回の留学は自分にとって初めての経験だったので、とても楽しく充実したものでなりました。ホームステイでは、ホストファミリーが自分の想像以上に親切に接してくれ、様々な会話をすることで、アメリカの食文化や日本の生活の様式の違いなど様々なことを学ぶことができました。PSU(Portland State University)の寮に入ってから、近へFood

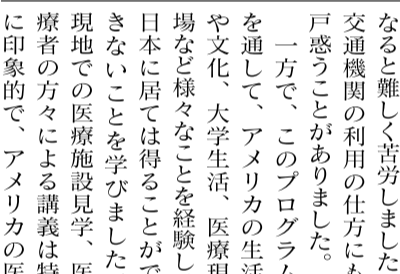
療について深く知り、とても勉強になりました。語学研修のクラスでは、街行く人にインタビューすることもあり、語学力を向上する上でとても役に立ちました。また新たな仲間との出会いもあり、充実した夏休みを過ごせたことに満足しています。最後に留学プログラムに参加することができて本当に良かったと心から思います。ここで得たことを今後の学習、将来に活かしていきたいです。

は、語学力を養うことができました。最初はとても不安でしたが、ホストマザーとの会話を続けるうちに、うまく聞き取れなかった英語も後半ではかなり聞き取れるようになりました。また、今まで自分の話す英語に自信が持てませんでした。が、実際に英語を使い続けることでどうしたら伝わるかを学ぶことができました。特に、ホストマザーに日本料理を振舞った際、"It's so nice!"

「Three」と言っていただけのことには私の大切な思い出のひとつです。また、アメリカの医療に善のケアを提供できる看護師になれるよう、今回得られた語学力や医療知識を活かしていきたいと思えます。

武藤 優花 (保健医療学部 看護学科1年)

私は、語学力の向上とアメリカの医療を学ぶことで多角的な視野を身に付けたと考える、このプログラムに参加しました。



今回のポートルランド州立大学サマープログラムに参加するまで、私は約一ヶ月という長期間の海外生活を体験したことがありませんでした。現地に行くまでは楽しみな反面、不安な気持ちがありました。実際に会話を



医学堂書店

品川区 旗の台 電話(03) 3783-9774

お忙しい幹事様へ
 パーティお手伝いします
 会場手配 事前打合せ 招待状発送 出欠席・会費管理 交通手配等 一部でも全部でも

昭友商事株式会社 3784-8280